

アートプログラム概要

■ 観察し、語るアート体験 キッズ・ユース向けの鑑賞ガイドツアー！

現存する日本最古の私立美術館「大倉集古館」にて、子供・若者を対象に展示解説やワークショップを通じて現代アートに親しむ鑑賞ガイドツアーを企画。作品にじっくり向き合い、自分の心の動きや感じ方に気づくことで深い観察の方法を学びます。

ユース向けプログラムでは、アートに関心が深く、鑑賞プログラムのガイドの経験を持つ大学生たちがガイド役を務めます。アートを「観る」楽しさに加え、ユース世代から眺める世界観や新たな作品解釈の場を広げます。

日 時 11月8日(土曜)、9日(日曜)

会 場 AWT FOCUS(大倉集古館)

対 象 ①親子(6歳から9歳)

②小学生(10歳から12歳)

③ユース(13歳から22歳)

定 員 ①各回10組程度、②各回15名程度、

③各回10名程度

申 込 9月22日(月曜)から[公式HP](#)で受付中

(10月20日(月曜)まで。事前申込・抽選・参加無料。)



アート教育付き託児サービス

アーティストが手掛けた本の読み聞かせや絵の鑑賞、アート制作を通じてアートに触れ合える託児サービスをオープンします。日英バイリンガル対応です。

日 時 11月7日(金曜)～9日(日曜)10時00分～17時45分

料 金 時間制([公式HP](#)から要事前予約)

会 場 大倉集古館(AWT FOCUS会場)

対 象 未就学児(生後6か月～6歳以下)



■ ビギナーもプロも、もっと深いアートの世界へ キュレーターシンポジウムを開催！

現代社会におけるアートの位置づけや批評的アプローチについて、国際的なキュレーターを招聘して議論します。世界の出来事が混乱と矛盾に包まれるこの時代に、「私たちはアートに何を期待できるのか」「アートは何を語ることができるのか」を議論します。どなたでも無料で聴講できるプログラムです。基調講演を行うのは、2027年に開催される「ドクメンタ16」のアーティスティックディレクターに就任したナオミ・バックウィスです。

テーマ「WHAT'S GOING ON(愛のゆくえ)——アートはいかにして現実をとらえるか」

※日英同時通訳

基調講演者 ナオミ・バックウィス(グッゲンハイム美術館副館長兼チーフキュレーター)

登壇者 アダム・シムジック(チューリッヒ在住キュレーター、作家、編集者)

岡村恵子(東京都現代美術館事業企画課企画係長)

モデレーター アン德里ュー・マークル(アートウィーク東京 エディトリアル・ディレクター)

日 時 令和7年11月7日(金曜)18時00分～20時00分

会 場 慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎ホール

定 員 800名

申 込 9月22日(月曜)より[公式HP](#)で受付中(事前申込・先着順・参加無料)

■ これからのコレクターを育てる スタートアップガイド ミートアップ&ガイドツアー！

現代アートのコレクションに興味があるすべての方を対象に、アート鑑賞や購入の方法から世界のアート界の最新情報、コレクションの傾向までを立体的にとらえる学びの場【ミートアップ】を世界最高峰のアートフェア「アートバーゼル」とのコラボレーションで実施します。

また、これからアートをコレクションしてみたいと考える方に向けて、アートウィーク東京の主要コンテンツやギャラリーを巡る【ガイド付きバスツアー】も開催します。

ミートアップ

日 時 ① 11月5日(水曜)12時30分～13時30分
② 11月6日(木曜)16時00分～17時30分
③ 11月7日(金曜)15時00分～16時30分

会 場 salon(南青山 emergence aoyama complex 2階)

定 員 各回20名

申 込 9月22日(月曜)から[公式HP](#)で受付中
(10月20日(月曜)まで。事前申込・抽選・参加無料)

(写真)2024年度の様子



ガイド付きバスツアー

日 時 11月7日(金曜)14時00分～17時30分
11月9日(日曜)15時00分～18時00分

会 場 AWT VIDEO(三井住友銀行東館 1F アース・ガーデン)
AWT FOCUS(大倉集古館)、AWT BAR(南青山)
都内ギャラリー約6～9カ所 ※各日内容は異なります。

定 員 各回10名

申 込 9月22日(月曜)から[公式HP](#)で受付中
(10月20日(月曜)まで。事前申込・抽選・参加無料)



オンライントーク配信中！

アーティストや美術史家、キュレーター、批評家、クリエイターなど、各分野の第一線で活躍する専門家らによるレクチャーやディスカッションをオンラインで配信します。2025年第1弾は、笹本晃と田中功起による対談を配信中。過去のアーカイブもあわせて公式HPからご覧いただけます。

AWTオンライントーク: <https://www.artweektokyo.com/talks/>